



各位

株式会社 東北銀行

## 水稻中干し期間延長によるJークレジット創出の 支援実績について（2025年の取り組み）

東北銀行（取締役頭取 佐藤 健志）は、株式会社フェイガー（代表取締役 石崎 貴紘、以下「フェイガー」）と共に、水稻生産者（以下「生産者」）が取り組む「中干し期間延長によるJークレジット創出（※）」を支援しましたので、下記の通りお知らせいたします。

当行はフェイガーと連携し、生産者の申請作業をサポートする体制を構築のうえ、2024年よりJークレジット創出に向けた支援に取り組んでおります。

2025年は、猛暑が続き、例年以上に水稻栽培において水管理を含めた繊細な対応が求められる厳しい環境下でしたが、前年を上回る生産者数と圃場規模でJークレジット創出に向けた取り組みが行われ、当行はその支援を実施しました。

当行が支援した先を含むフェイガーの「水稻栽培における中干し期間の延長」プロジェクトは、第68回Jークレジット制度認証委員会においてクレジット認証を取得しております。このうち、当行が支援した岩手県、宮城県、秋田県における生産者が創出したJークレジットは約11,300 t-CO2となりました。本取り組みを通じて農業の脱炭素化を促進し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献することが出来ました。なお、認証されたJークレジットはフェイガーが生産者から全量を買取り、フェイガーを通じて生産者の方々へその収益が還元されています。

2026年についても、新たな生産者の参画を加えて既にプロジェクトが開始されており、当行は引き続きその取り組みの加速に向けて、さらなる支援の拡充を推進してまいります。

当行は、農業由来Jークレジットの認証実績が国内最大級のフェイガーと共にクレジット創出の取り組み拡大を図り、生産者の所得向上と農業の脱炭素化を進め、農業の持続的な成長・発展を支援してまいります。

### 記

#### 1. 2025年に当行が創出支援したJークレジットについて

実施地域	岩手県、宮城県、秋田県
生産者数	105先
圃場規模	約1,500ha
Jークレジット創出量	約11,300 t-CO2（約5,600世帯の年間電力消費量に相当）



〒020-0023 盛岡市内丸3番1号

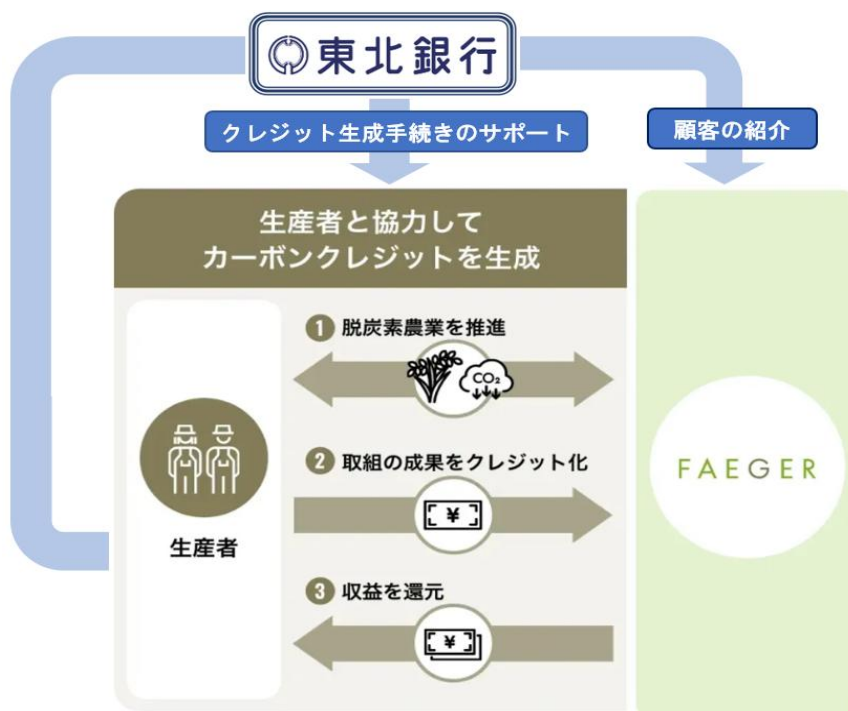
Kiki & Lala リトルツインスターズはとうぎんのイメージキャラクターです。©2023 SANRIO CO.,LTD. APPROVAL NO. L644645

【本件に関するお問い合わせ】  
みらい創生部(担当:下新井田)  
TEL: 019-651-6173

## 2. 株式会社フェイガーについて

会 社 名	株式会社フェイガー		
所 在 地	東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 3階 0 Club		
代 表 者	代表取締役 石崎 貴紘	設 立	2022年7月7日
事 業 内 容	脱炭素型農業支援、カーボンクレジット創出・販売支援、耐候性ソリューションの研究開発		
特 記 事 項	第 68 回 J-クレジット制度認証委員会において、「水稲栽培における中干し期間の延長」プロジェクトにより、225,735t-CO <sub>2</sub> のカーボンクレジット認証を取得。併せて、「バイオ炭の農地施用」による 27t-CO <sub>2</sub> の認証も取得。		
U R L	<a href="https://faeger.company/">https://faeger.company/</a>		

## 3. 当行の J-クレジット創出支援に係るフロー図



### (※) 水稲栽培における中干し期間延長による J-クレジット創出

水田から発生するメタンは土壤に含まれる有機物や肥料から嫌気性菌であるメタン生成菌の働きにより生成されます。水田からのメタンの発生を減らすには落水期間を長くすることが重要で、水稲栽培において通常行われる中干し期間を延長することによるメタン発生量を削減する手法が J-クレジット制度における農業分野での方法論で承認されています。



以 上